

# 水質目標項目の設定に対する考え方（案）

## \*水質項目の絞込みの考え方

1. 水質基準（50項目）等の項目から、におい・味など「おいしい水」に関わる項目を抽出する。
2. 国の「おいしい水研究会」の項目、数値と当局の現状を比較し、目標設定の参考とする。
3. 他事業体のおいしい水への取り組み項目、数値と当局の現状を比較し、目標設定の参考とする。

## 国の研究会

<おいしい水研究会> 水質目標：7項目  
 \*水の味をおいしくする要素（3項目）、水の味を損なう要素（3項目）、水をおいしく飲むための要素（1項目）を整理し、国へ報告

## 他事業体の取り組み

- 1) 東京都水道局  
 <安全でおいしい水プロジェクト推進計画>  
 水質目標：8項目  
 \*におい（5）、味（1）、外観（2）から選定
- 2) 横浜市水道局  
 <安全でおいしい水推進事業>  
 水質目標：7項目  
 \*おいしさ（5）、安全（2）から選定

## 局独自の水質項目の要素（案）

・水質基準等の項目を前提とし、国や他事業体の設定状況、お客様の要望などから、次の4要素が基本と考えられる。

- 1 **におい**  
 塩素臭やかび臭は、水の味を損なうため、お客様の臭覚を通じておいしいと感じて飲んでいただける要素となる。
- 2 **味**  
 においと同様にお客様の味覚を通じておいしいと感じて飲んでいただける要素となる。
- 3 **外観**  
 水道水の外観は無色透明を基本としており、お客様の視覚を通じておいしいと感じて飲んでいただける要素となる。
- 4 **その他**  
 国が定める水質基準を十分満足した、安全で安心して飲めることが重要な要素となる。

## 懇話会での審議（案）

・4要素の水質項目については、当局の水源水質や水道システムの状況等から、次の項目が水質目標の対象と考えられる。（詳細：別紙）

- 1 **におい**  
 利用者からの要望の強い「残留塩素」や水源で発生する「かび臭」などが対象・
- 2 **味**  
 「有機物（TOC）」が多いと味にしみがあるといわれており、水源水質や浄水処理により変動する状況にあり、水質目標の対象。
- 3 **外観**  
 水質基準の外観項目であるが、水道水の基本指標として「色度」、「濁度」が対象。
- 4 **その他**  
 安全でおいしい水づくりに向けて、局ができる範囲で目標設定を検討する項目として「トリハロメタン」が対象。

懇話会からの提言

水質目標の設定

## おいしい水に関するお客様の意向調査

- (1) アンケート調査
  - 1) インターネットモニター（400名：6月）
  - 2) 浄水場見学会等の意見（187名：6月）
  - 3) 局ホームページ（県水利用者：7月）
  - 4) 親子浄水場見学会の意見（約100名：8月）
- (2) 調査の内容  
 水道水の満足度、おいしさ 等

## (1) インターネットモニターアンケート調査結果

- 1) 満足度（①満足：30%、②不満：66%）  
 ・不満の理由：①おいしくない、②安全性に不安、
- 2) おいしさ（①おいしい：18%、②おいしくない：65%）  
 ・おいしくない理由：塩素くさい、②生ぬるい
- 3) 水道水に求めるもの（①安全性：98%、おいしさ：78%）

## (2) 浄水場見学会等アンケート調査結果（中間）

- 1) 満足度はモニターより高い（50%以上）
- 2) 不満の理由・水道水に求めるものは、モニターと同様傾向

## 利き水の調査

- ① 水道局職員による利き水  
 （約100名：残留塩素、かび臭、有機物などの濃度の違い）
- ② 浄水場見学会による利き水  
 （187名：残留塩素の濃度の違い）
- ③ 親子浄水場見学会による利き水  
 （約100名：8月かび臭の濃度の違い）

## 1) 残留塩素の違いによる調査結果 （塩素臭を感知した濃度）

	懇話会委員	局職員	見学会
・0.4mg/L	30%	0%	2%
・0.6mg/L	50%	—	—
・0.8mg/L	70%	46%	22%
・1.3mg/L	90%	81%	34%